

## 第三者評価結果の公表事項(児童養護施設)

### ①第三者評価機関名

社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会

### ②評価調査者研修修了番号

S 2 5 1 9 7 ・ S 1 6 0 5 5

### ③施設の情報

|                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 名称：児童養護施設 八幡浜少年ホーム              | 種別：児童養護施設   |
| 代表者氏名：施設長 二宮 真人                 | 定員（利用人数）：40名（31名）   |
| 所在地：八幡浜市五反田1-25                 |   |
| TEL：0894-22-0026                | ホームページ： <a href="http://yawatahama-syounenhome.or.jp/publics/index/8/">http://yawatahama-syounenhome.or.jp/publics/index/8/</a> |
| 【施設の概要】                         |   |
| 開設年月日 昭和39年4月1日                 |   |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 八幡浜少年ホーム |   |
| 職員数                             | 常勤職員：23名<br>非常勤職員：1名  |
| 専門職員                            | （専門職の名称）  |
|                                 | 保育士9名<br>心理療法士1名  |
|                                 | 栄養士1名   |
| 施設・設備の概要                        | （居室数）   |
|                                 | 居室12室・園長室・事務室・食堂・調理室・医務室・静養室・指導員室・保育士室・家庭支援相談室・心理療法室・浴室   |
|                                 | （設備等）   |
|                                 | 鉄筋コンクリート3階建て  |

### ④理念・基本方針

#### 運営理念

- 1 児童の心身の健全な成長と自立を支援する
- 2 安全で安心できる環境の中での生活を守る
- 3 地域と協働した養育の支援を実践する
- 4 親子関係の再構築を図り、家庭復帰を目指す
- 5 職員の自己研鑽に努め、より良い支援を探求する

### ⑤施設の特徴的な取組

- 1 住宅地の一角に位置し近隣関係や社会資源を大切にしながら児童の養育に努めている
- 2 地域小規模児童養護施設の開設をはじめ施設の小規模化に取り組んでいる
- 3 家庭的な雰囲気の中で食育を大切にし、児童の満足度も高い
- 4 不登校児童もなく、健全な成長と自立を支援している
- 5 権利ノートを活用や虐待防止研修を通して、児童の権利擁護に努めている

## ⑥第三者評価の受審状況

|               |   |
|---------------|---|
| 評価実施期間        | 平成28年11月30日（契約日）～<br>平成29年3月9日（評価結果確定日） |
| 受審回数(前回の受審時期) | 2回（平成25年度）                              |

## ⑦総評

### ◇特に評価の高い点

昭和39年に社会福祉法人八幡浜市社会福祉協議会により定員50名で開設され、昭和48年に社会福祉法人八幡浜少年ホーム（以下、法人という）に運営が移管される。

昭和51年に定員40名に改定がされ、現在に至っている。

家庭的養護推進計画に沿って、施設の小規模化や地域分散化、高機能化（児童家庭支援センター・里親支援）に取り組んでいる。

また、心理療法担当職員の配置（平成27年）や地域小規模児童養護施設の開設（平成28年）、本館の個室化改築工事予定（平成28年）等の事業計画が計画的に進められている。

児童の権利を守るために「権利ノート」を活用しての定期的な学習会や、虐待防止委員会での話し合いを通して、被措置児童等虐待防止に計画的に取り組んでいることは高く評価できる。

### ◇改善を求められる点

自己評価や第三者評価で得た改善課題について、責任者や達成時期、予測される結果等を文書化するなど、計画的に改善に取り組むことを期待したい。

ヒヤリハットやPDCAサイクルの意義を再確認し、職員の気づきや振り返りを通して業務改善力を育成するよう取り組まれることを期待したい。

## ⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

前回指摘された項目については改善に向けて取り組んできました。

今回3年ぶりに受審してみて、御指導頂いた点、特に指摘された点については今回更に具体的な改善点を明確に文章化し、3年後に向けてより良いサービスの向上を目指したいと思います

## ⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

## 第三者評価結果（児童養護施設）

※すべての評価細目（共通評価基準 45 項目・内容評価基準 41 項目）について、判断基準（a・b・c の 3 段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

### 共通評価基準（45 項目）

#### 評価対象 I 養育・支援の基本方針と組織

##### I-1 理念・基本方針

|  |                                   | 第三者評価結果        |
|--|-----------------------------------|----------------|
| I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。  |                                   |                |
| ①  | I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 | a・ <b>①</b> ・c |
| <コメント><br>理念、基本方針は文書等に記載され、明文化されている。<br>今後は、新任職員はもとより職員全員に、法人の理念や基本方針について継続して周知を図るよう取組みに期待したい。 |                                   |                |

##### I-2 経営状況の把握

|  |   | 第三者評価結果        |
|--|---|----------------|
| I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。  |   |                |
| ②  | I-2-(1)-① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 | a・ <b>②</b> ・c |
| <コメント><br>安定した経営がなされており、措置児童数の確保も数年前よりは解消されつつある。<br>今後は、定期的に養育・支援のコスト等を分析し、経営状況を的確に把握するよう取組みに期待したい。        |   |                |
| ③  | I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。         | a・ <b>③</b> ・c |
| <コメント><br>施設長は理事会で経営状況や課題を説明している。<br>今後は、経営課題を明確にし、家庭的養護推進計画に基づき、財政・運営の基盤をより強固なものにしながら、具体的な取組みを進めるよう期待したい。 |   |                |

##### I-3 事業計画の策定

|   |                                       | 第三者評価結果       |
|---|---------------------------------------|---------------|
| I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。                         |                                       |               |
| ④   | I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 | <b>④</b> ・b・c |
| <コメント><br>小規模化や地域分散化、高機能化を視野に入れた中・長期的な家庭的養護推進計画が示されている。 |                                       |               |

|  |   |       |
|--|---|-------|
| 5  | I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。                | a・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>中・長期計画の中から、単年度の事業計画を読み取ることができる。<br/>         今後は、入所児童等生活環境改善事業(環境の改善や修繕、備品購入計画)や、施設機能強化推進費にかかる取組み等が明記されるよう望みたい。</p> |   |       |
| I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。   |   |       |
| 6  | I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 | a・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業計画は、職員等の参画を得て策定されている。また、評価・見直しについても定められた手順で行われている。</p>  |   |       |
| 7  | I-3-(2)-② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。             | a・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者会が開催されており、周知する機会は確保されている。<br/>         今後は、事業計画の内容について子どもや保護者に対して資料を配布するなどして、理解を得るよう努めることを望みたい。</p>              |   |       |

#### I-4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

|   |   |         |
|---|---|---------|
|   |   | 第三者評価結果 |
| I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。  |   |         |
| 8   | I-4-(1)-① 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。            | a・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員配置基準の改正に伴う職員の増員は、確保されている。<br/>         今後は、養育・支援の質の向上のために、PDCAサイクルに基づく取組みを行ない、職員の改善意識を育成するよう望みたい。</p>          |   |         |
| 9   | I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。 | a・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>組織として取り組むべき課題については、明文化されているとは言えない。<br/>         今後は、評価結果を分析した結果やそれに基づく課題を文書化し、職員の共通理解のもとで計画的な改善がなされるよう期待したい。</p> |   |         |

## 評価対象Ⅱ 施設の運営管理

### Ⅱ-1 施設長の責任とリーダーシップ

|   |  |         |
|---|--|---------|
|   |  | 第三者評価結果 |
| Ⅱ-1-(1) 施設長の責任が明確にされている。                                |  |         |
| 10  | Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。 | a・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>施設長は自らの役割と責任を自覚し、積極的に実践している。</p> |  |         |

|   |   |       |
|---|---|-------|
| 11  | Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。      | ㉑・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>施設長は、家庭的養護推進計画の策定や社会福祉法人改革、職員配置基準の改正等に積極的に取り組んでいる。</p>          |   |       |
| Ⅱ-1-(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。  |   |       |
| 12  | Ⅱ-1-(2)-① 養育・支援の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。 | ㉑・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>施設長は、新たに園長補佐を位置付け、養育・支援の質の向上に努めている。</p>                         |   |       |
| 13  | Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。    | ㉑・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>施設長は理事会や職員のチームワークを大切に、現場経験を生かしながら施設の小規模化や地域分散化に具体的に取り組んでいる。</p> |   |       |

## Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

|  |  | 第三者評価結果 |
|--|--|---------|
| Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。  |  |         |
| 14   | Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。 | ㉑・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>職員配置基準の改正に伴う職員の確保はできている。また、心理担当職員の新たな配置、離職率の低さ等人材の確保・定着等に努めている。</p>  |  |         |
| 15   | Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。                         | a・㉑・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>人事基準は定められ、職員等に周知されているが、総合的な人事管理が行われているとまでは言えない。<br/>今後は、職員の意向・意見を反映させたり、評価・分析を行う等、より総合的な人事管理を行うよう期待したい。</p>          |  |         |
| Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。   |  |         |
| 16   | Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。       | ㉑・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>施設長を中心に、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。当施設の離職率は低く、人材の確保についても十分なされている。</p>  |  |         |
| Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。   |  |         |
| 17   | Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。                  | a・㉑・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの育成に向けた取組みを行っている。<br/>今後は、一人ひとりの育成のために、個人別目標管理シートの作成や自己啓発支援等の具体的な方法を検討するなど、取組みに期待したい。</p> |  |         |

|  |  |                |
|--|--|----------------|
| 18   | Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。        | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/> 全養協、愛児連等の外部での研修に対する計画が策定されている。<br/> 今後は、職員一人ひとりの専門性や養育の質の向上を図るための教育・研修計画を策定し、実施に向けて取り組むよう期待したい。</p>                             |  |                |
| 19   | Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。                      | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/> 外部研修に関する情報を提供し、参加を希望する職員が参加しやすいよう配慮している。<br/> 今後は、新人や中堅職員向けなどの階層別研修の充実や、個人別研修履歴シートを作成するなど検討し、職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されるよう期待したい。</p> |  |                |
| Ⅱ-2-(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。   |  |                |
| 20   | Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/> 実習生の受入れは積極的に行われている。<br/> 今後は、社会福祉士の実習指導者の専門性が問われてくるため、実習担当職員のための研修・育成の機会を設けるなど取組みに期待したい。</p>                                    |  |                |

### Ⅱ-3 運営の透明性の確保

|  |  |               |
|--|--|---------------|
|  |  | 第三者評価結果       |
| Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。                                       |  |               |
| 21   | Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。       | <b>a</b> ・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/> ホームページに資産管理及び経営状況が公開されており、運営の透明性が図られている。</p>      |  |               |
| 22   | Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 | <b>a</b> ・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/> 経理規程に基づき、公正かつ透明性の高い適正な経営・運営がなされ、情報公開も実施されている。</p> |  |               |

### Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

|   |                                      |                |
|---|--------------------------------------|----------------|
|   |                                      | 第三者評価結果        |
| Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。  |                                      |                |
| 23  | Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。 | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/> 子どもと地域との交流を広げるため、地域への働きかけを行っているが、十分とは言えない。<br/> 今後は、地域との関わり方に関して基本的な考え方を文書化するなど、取組みに期待したい。</p> |                                      |                |

|   |  |                |
|---|--|----------------|
| 24  | Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。     | a・ <b>ⓑ</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/> ボランティアの受け入れは積極的に行っている。<br/> 今後は、ボランティアや学校との連携・協力に関する手続き方法を盛り込んだマニュアルの作成や、ボランティアに対する事前の研修・支援の検討が望まれる。</p>                     |  |                |
| Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。   |  |                |
| 25  | Ⅱ-4-(2)-① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。 | a・ <b>ⓑ</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/> 関係機関との連携は適切に行われている。<br/> 今後は、病院や学校だけでなく、発達支援や就労支援等の地域の関係機関についてリスト化し、関係機関とのさらなる良好なネットワークづくりに期待したい。</p>                        |  |                |
| Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。  |  |                |
| 26  | Ⅱ-4-(3)-① 施設が有する機能を地域に還元している。                    | a・ <b>ⓑ</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/> ショートステイや要保護児童対策地域協議会の実務者会議に定期的に参加している。<br/> 今後は、住民に対する講演会や相談活動等福祉に関する相談窓口の設置等、施設が有する機能を地域に還元するような取組みについて、検討・実施するよう期待したい。</p> |  |                |
| 27  | Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。         | a・b・ <b>ⓒ</b>  |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/> 地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動は、行われていない。<br/> 今後は、施設のスペースを活用したり、施設の専門性や特性を活かして地域住民との交流を行うなど、独自性のある活動を行うよう望みたい。</p>                    |  |                |

## 評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施

### Ⅲ-1 子ども本位の養育・支援

|  |   |                |
|--|---|----------------|
|  |   | 第三者評価結果        |
| Ⅲ-1-(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。  |   |                |
| 28   | Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した養育・支援提供について共通の理解をもつための取組を行っている。 | a・ <b>ⓑ</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮は、権利ノートの年齢別学習会や被虐待防止委員会等で取り組まれている。<br/> 今後とも継続して職員の意識向上を図る取組みを期待したい。</p>              |   |                |
| 29   | Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した養育・支援提供が行われている。  | a・ <b>ⓑ</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/> 子どものプライバシー保護等に配慮した養育・支援が行われている。<br/> 今後は、個人情報保護規程はもとより、日常生活の支援や関わりにおける児童のプライバシーの保護に関する規程の作成が望まれる。</p> |   |                |

|  |  |       |
|--|--|-------|
| Ⅲ-1-(2) 養育・支援の提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。   |  |       |
| 30   | Ⅲ-1-(2)-① 子どもや保護者等に対して養育・支援選択に必要な情報を積極的に提供している。      | ㉑・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>ホームページやパンフレットを作成し、保護者会の開催等必要な情報提供に努めている。</p>   |  |       |
| 31   | Ⅲ-1-(2)-② 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。      | a・㉒・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>養育・支援の開始・過程において子どもや保護者に説明している。<br/>今後は、保護者の意見や書面での同意の確認がなされるなど、さらなる取組みに期待したい。</p>                                  |  |       |
| 32   | Ⅲ-1-(2)-③ 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。 | a・㉒・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>措置変更や地域・家庭への移行等、退所後も継続的な支援に努めている。<br/>今後は、退所後の子どもの養育・支援の継続性に配慮した手順を定めると共に、アフターケアについて検討するよう期待したい。</p>               |  |       |
| Ⅲ-1-(3) 子どもの満足の向上に努めている。   |  |       |
| 33   | Ⅲ-1-(3)-① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。           | a・㉒・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>子どもへの個別の相談面接や聴取等が行われている。<br/>今後は、子どもの満足に関する調査の担当者の設置や把握した結果を分析・検討し、子どもと共に具体的な改善を行うよう望みたい。</p>                      |  |       |
| Ⅲ-1-(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。   |  |       |
| 34   | Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。                 | a・㉒・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>苦情解決の仕組みはできているが、子どもや保護者に対してわかりやすく周知されているとまでは言えない。<br/>今後は、子どもや保護者に分かりやすく具体的な文書を作成すると共に、周知するよう取組みに期待したい。</p>        |  |       |
| 35   | Ⅲ-1-(4)-② 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。         | a・㉒・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>子どもが相談や意見を述べやすいように、環境は整備されている。<br/>今後は、複数の相談や意見を述べる方法があることや相手を自由に選べることを分かりやすく説明した文書を作成するよう取組みに期待したい。</p>           |  |       |
| 36   | Ⅲ-1-(4)-③ 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。            | a・㉒・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>子どもからの相談や意見に対しては、適切に対応している。<br/>今後は、相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備すると共に、定期的な見直しを行うよう取組みに期待したい。</p> |  |       |

|  |  |                |
|--|--|----------------|
| Ⅲ-1-(5) 安心・安全な養育・支援の提供のための組織的な取組が行われている。   |  |                |
| 37   | Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な養育・支援の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。   | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもの安心・安全を確保するために、毎月の職員会でヒヤリハットについて報告を行っている。</p> <p>今後は、職員の危機管理能力を日常的に育成するために、事故報告書やヒヤリハットを通して危機に対する気づきや振り返りを行うよう期待したい。</p> |  |                |
| 38   | Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。 | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>感染症の予防や発生については体制を整備し、マニュアル等の見直しもされている。</p> <p>今後は、感染症については、適切な時期に繰り返し職員研修を実施するよう期待したい。</p>                                  |  |                |
| 39   | Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。           | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>災害時対応については、繰り返し職員研修を行っている。</p> <p>今後は、防災計画等整備し、地元の関係団体等と連携して防災訓練を行うなど取組みに期待したい。</p>   |  |                |

### Ⅲ-2 養育・支援の質の確保

|   |   |                |
|---|---|----------------|
|   |   | 第三者評価結果        |
| Ⅲ-2-(1) 提供する養育・支援の標準的な実施方法が確立している。  |   |                |
| 40  | Ⅲ-2-(1)-① 提供する養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が提供されている。 | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>提供する養育・支援について新人研修等の施設内研修で伝えられてはいるが、標準的な実施方法が文書化されているとまでは言えない。</p> <p>今後は、新人研修や実習生説明時の資料を活用し、標準的な実施方法として整理し、職員の共通理解が図れるよう期待したい。</p> |   |                |
| 41  | Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。             | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>標準的な実施方法が明文化されると共に、PDCAサイクルに基づき見直し、その内容が記録として蓄積されるよう期待したい。</p>   |   |                |
| Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより支援実施計画が策定されている。   |   |                |
| 42  | Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な支援実施計画を適切に策定している。          | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>自立支援計画策定の責任者を設置している。</p> <p>今後は、自立支援計画策定の責任者や担当者、様々な職種の職員間で協議されることを望みたい。また、アセスメントシートの活用については、積極的に導入・活用するよう期待したい。</p>               |   |                |

|  |   |                |
|--|---|----------------|
| 43   | Ⅲ-2-(2)-② 定期的に支援実施計画の評価・見直しを行っている。                | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>         自立支援計画の見直しについては、時期を定めて実施している。<br/>         今後、自立支援計画の見直しや改善課題については、標準的な実施方法に反映するなど養育・支援の質の向上につながるよう取組みに期待したい。</p> |   |                |
| Ⅲ-2-(3) 養育・支援実施の記録が適切に行われている。  |   |                |
| 44   | Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する養育・支援実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。 | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>         記録様式を統一し、児童の養育記録はパソコンで管理されている。<br/>         今後は、自立支援計画に沿った養育・支援の実施状況等について、今以上に具体的に記録がされるよう期待したい。</p>              |   |                |
| 45   | Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。                  | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>         個人情報保護規程に沿って記録の管理に努めている。<br/>         今後は、個人情報の保護について職員に対して研修等を行うと共に、より一層、適切な管理に努めることを期待したい。</p>                  |   |                |

## 内容評価基準（41 項目）

※「共通評価基準評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施」の付加項目

### A-1 子ども本位の養育・支援

|  |   | 第三者評価結果        |
|--|---|----------------|
| A-1-(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮  |   |                |
| A①   | A-1-(1)-① 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。   | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>情報共有の仕組みを構築し、日々の育成記録、自立支援計画に基づいた支援が明確にされている。</p> <p>今後は、必要に応じて職員がスーパービジョンを受けられる環境の整備に期待したい。</p>   |   |                |
| A②   | A-1-(1)-② 子どもの発達段階に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。         | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>適時、施設長が伝えているが、児童の生い立ちなどの取扱い方が適切とまでは言えない。</p> <p>今後は、生い立ちなどを子どもに伝える意義や、子ども自身が適切に理解を得ることができるよう、取組みを望みたい。</p>                                  |   |                |
| A-1-(2) 権利についての説明  |   |                |
| A③   | A-1-(2)-① 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。                       | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>権利ノートを入所児童に配布し、定期的な学習会を年齢に配慮して行っている。</p> <p>今後は、子どもの権利に関する、職員の学習の機会を設けるよう期待したい。</p>   |   |                |
| A-1-(3) 他者の尊重  |   |                |
| A④   | A-1-(3)-① 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。 | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>南予福祉施設会の行事を通して、障害者施設や他の児童養護施設との交流ができています。</p> <p>今後は、子どもが自他の権利を尊重し共生ができるよう、さらなる支援を期待したい。</p>  |   |                |
| A-1-(4) 被措置児童等虐待対応   |   |                |
| A⑤   | A-1-(4)-① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。                 | <b>a</b> ・-・c  |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>施設内研修として2か月に1回、虐待防止研修を行っている。職員間で体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないように、職員全員に誓約書を取るなどしている。</p>   |   |                |
| A⑥   | A-1-(4)-② 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。                            | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員の不適切な関わりの防止や、子ども間の暴力などの早期発見に取り組んでいるが、十分とは言えない。</p> <p>今後は、不適切な関わりの防止等だけでなく、施設の内外の死角や密室の点検などについても具体的な方法を設け、不適切な関わり防止と早期発見に向けた取組みを望みたい。</p> |   |                |

|  |  |                |
|--|--|----------------|
| A⑦   | A-1-(4)-③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。                        | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/> 被措置児童等虐待の届出、通告に対する対応を整備している。<br/> 今後は、通告制度について説明した資料を子どもや保護者に配布するなど、新たな取組みに期待したい。</p>   |  |                |
| A-1-(5) 思想や信教の自由の保障  |  |                |
| A⑧   | A-1-(5)-① 子どもや保護者等の思想や信教の自由を保障している。                                      | <b>a</b> ・b・c  |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/> 子どもや保護者の思想や信教によって、子どもの権利が損なわれないように配慮している。</p>   |  |                |
| A-1-(6) 子どもの意向や主体性への配慮   |  |                |
| A⑨   | A-1-(6)-① 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されることに伴う不安を理解し受けとめ、不安の解消を図っている。    | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/> 入所する子どもを迎える日に、すでに入所している子どもたちがウェルカムボードを作成している。<br/> 今後は、分離される影響を軽減する慣らし保育や事前の施設見学、職員による一時保護所への面会などさらに適切に取り組むよう期待したい。</p>         |  |                |
| A⑩   | A-1-(6)-② 職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。 | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/> 子どもの意見を積極的に取り入れ生活改善に向け取り組んでいる。<br/> 今後は、取り組んだ記録の整備や、子どもたちの意見で生活がしやすくなると感じ取れる機会（年齢別に分けた話し合いの場等）を計画するなど取組みに期待したい。</p>             |  |                |
| A-1-(7) 主体性、自律性を尊重した日常生活   |  |                |
| A⑪   | A-1-(7)-① 日々の暮らしや、余暇の過ごし方など健全な生活のあり方について、子ども自身が主体的に考え生活できるよう支援している。      | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/> 地域小規模児童養護施設を開設し小規模化に取り組んでいる。本体施設との生活とは切り離し、子どもたちが主体的に生活できている。<br/> 今後は、本体施設においても、子どもがグループで話し合いをするなど、生活に主体的に関われる機会を作るよう望みたい。</p> |  |                |
| A⑫   | A-1-(7)-② 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。                     | a・ <b>b</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/> お小遣い帳を使って自己管理ができるよう取り組んでいる。<br/> 今後は、愛児連作成のひとり立ちのハンドブックなどを活用し、退所後の生活を想定した食事の買い物等のプログラムを実施するよう期待したい。</p>                         |  |                |

|  |   |                |
|--|---|----------------|
| A-1-(8) 継続性とアフターケア   |   |                |
| A⑬   | A-1-(8)-① 家庭復帰にあたって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう復帰後の支援を行っている。       | a・ <b>⑬</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>家庭復帰にあたって関係機関と連携を取りながら支援している。<br/>         今後は、子どもと家族の意向を照らし合わせ納得して生活できるよう検討され、その記録が整備されるよう期待したい。</p> |   |                |
| A⑭   | A-1-(8)-② できる限り公平な社会へのスタートが切れるように、措置継続や措置延長を積極的に利用して継続して支援している。 | <b>⑭</b> ・b・c  |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>一人ひとりの自立支援計画が整備され、大学進学希望者の学習環境の整備も整っている。<br/>         卒業後の経済的なことについても安心できるよう支援がされている。</p>             |   |                |
| A⑮   | A-1-(8)-③ 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。    | a・ <b>⑮</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>自立支援計画が定期的にリービングケア（退所後の自立に向けての準備・支援）の内容も含めて見直されている。</p>   |   |                |

## A-2 養育・支援の質の確保

|  |   |                |
|--|---|----------------|
| A-2-(1) 養育・支援の基本   |   |                |
| A⑯   | A-2-(1)-① 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。              | a・ <b>⑯</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもと積極的に関わり、子どもを理解し寄り添い課題に向き合っている。<br/>         今後は、子どもが表出する感情や言動だけでなく、態度や言葉では言えない気持ちなどを利用者アンケートなどを活用し理解を深める取組みを行うよう期待したい。</p>              |   |                |
| A⑰   | A-2-(1)-② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。 | a・ <b>⑰</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもとの時間を大切に考え、個別にふれあう時間を確保している。<br/>         集団の生活の中で一人ひとりの欲求に対し、全てに応えることは難しい状況ではあるが、今後も、子どもの発達段階やそのときどきの状況によって、対応していけるよう取組みに期待したい。</p>     |   |                |
| A⑱   | A-2-(1)-③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。  | a・ <b>⑱</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にしているが、子どもが自ら判断し行動することを保障しているとまでは言えない。<br/>         今後は、生活の見守り方や支援の仕方が管理・指導にならないよう、子ども自らが主体的に考え生活できる環境を整備するよう期待したい。</p> |   |                |
| A⑲   | A-2-(1)-④ 発達段階に応じた学びや遊びの場を保障している。                         | a・ <b>⑲</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域の幼稚園を利用し地域の子どもたちとの遊びや交流ができている。また、特別支援学校へ通学する児童も多く、障害を有する児童への理解や対応も適切である。<br/>         今後は、発達段階に応じた図書や玩具、遊具の整備が望まれる。</p>                   |   |                |

|   |   |       |
|---|---|-------|
| A⑳  | A-2-(1)-⑤ 秩序ある生活を通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。 | a・㉑・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>施設全体が穏やかな雰囲気です。秩序ある生活が営まれている。</p> <p>今後は、見えやすくわかりやすい掲示物などを活用し、子どもが社会生活を営む上で必要な知識や技術を日常的に伝えられるよう取組みに期待したい。また、地域社会への積極的参加を図るなど、社会的ルールを習得する機会を設けることが望まれる。</p> |   |       |
| A-2-(2) 食生活   |   |       |
| A㉑  | A-2-(2)-① 食事は、団らんの場でもあり、おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。                           | ㉑・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>栄養士による献立は、子どもたちの嗜好調査等を参考に作成された、魅力的な食事になっている。トースターやホットプレートを使用し、温かい食事が提供されている。テーブルの配置も楽しく食事できるように考慮されている。</p>  |   |       |
| A㉒  | A-2-(2)-② 子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供している。  | ㉑・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年2回行う子どもたちの嗜好調査は、多面的に調査されている。結果をランキング形式で公表し、変化に富んだ献立に役立てている。職員会時に給食委員会を開き、より良い食事について協議されている。</p>   |   |       |
| A㉓  | A-2-(2)-③ 子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。                           | a・㉑・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもの発達段階に応じた食育が行われている。食事当番は女子児童だけであるため、男子児童にも食事の準備等に触れる機会を設けるよう、取組みに期待したい。</p>   |   |       |
| A-2-(3) 衣生活   |   |       |
| A㉔  | A-2-(3)-① 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。                 | ㉑・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>常に衣類は体に合った物を着用し、清潔で季節に合った服装ができています。お小遣いで好みの衣類を購入する機会もあり、画一的な衣生活にならない配慮がなされています。</p>  |   |       |
| A-2-(4) 住生活   |   |       |
| A㉕  | A-2-(4)-① 居室等施設全体がきれいに整美されている。  | ㉑・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>破損か所は速やかに補修がされており、施設全体がきれいに整備されている。居室は子どもたち自身が整理整頓、清掃をしているが十分でない所は職員が手伝っている。</p>   |   |       |
| A㉖  | A-2-(4)-② 子ども一人ひとりの居場所が確保され、安全、安心を感じる場所となるようにしている。                          | ㉑・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもたち一人ひとりの机や収納が確保されている。年少児の居室は安心して過ごせるように職員の目の届きやすい所に配置されている。</p>   |   |       |

|  |  |       |
|--|--|-------|
| A-2-(5) 健康と安全  |  |       |
| A⑳   | A-2-(5)-① 発達段階に応じ、身体健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。             | a・㉑・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>発達段階に応じた衛生管理が身に付けることができるように支援している。中学生以上は一人ひとりが自転車を所持し交通ルール、事故防止に気をつけて使用することができる。</p>  |  |       |
| A㉒   | A-2-(5)-② 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。  | a・㉑・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域周辺の医療機関と適切な対応ができるように連携している。子どもの病気やケガの状況も職員が把握、管理できている。</p> <p>今後は、職員に対する医療や健康に関する学習の機会が設けられるよう期待したい。</p>                                  |  |       |
| A-2-(6) 性に関する教育  |  |       |
| A㉓   | A-2-(6)-① 子どもの年齢・発達段階に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。 | a・㉑・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>性に関する知識は、年齢・発達段階に応じて個別に対応している。また、正しい知識を得るよう生活の中でも意識されている。職員に対しては、施設内研修で性教育について取り上げられている。</p> <p>今後は、年齢や発達段階に応じたカリキュラムを整備するなど、取組みに期待したい。</p> |  |       |
| A-2-(7) 自己領域の確保  |  |       |
| A㉔   | A-2-(7)-① でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とするようにしている。                       | a・㉑・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日用品は共有物をなくし、個人所有の物はできる限り子どもの好みを尊重している。お小遣いで自分の好みの物を購入し使用できるようにしている。</p>   |  |       |
| A㉕   | A-2-(7)-② 成長の記録（アルバム等）が整理され、成長の過程を振り返ることができるようにしている。               | a・㉑・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日常生活や施設、学校の行事等で撮影された写真をデータ化し退所時に渡している。</p> <p>今後は、可能な限り出生から現在までの成長の記録（アルバム等）を振り返りたい時に、いつでも見ることのできる環境を整備するよう期待したい。</p>                       |  |       |
| A-2-(8) 行動上の問題及び問題状況への対応   |  |       |
| A㉖   | A-2-(8)-① 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。                     | a・㉑・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもの行動上の問題に関係機関と連携して対応している。</p> <p>今後は、適切な援助技術を習得するための職員研修が実施されるよう期待したい。</p>  |  |       |
| A㉗   | A-2-(8)-② 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。                 | a・㉑・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子ども間の暴力やいじめ、差別の予防のために施設内の構造等について点検を行っている。</p> <p>今後は、職員の配置や勤務形態のあり方等、子どもの生活を見守る環境整備がなされるよう期待したい。</p>  |  |       |

|  |  |       |
|--|--|-------|
| A③④  | A-2-(8)-③ 虐待を受けた子ども等、保護者等からの強引な引取りの可能性がある場合、子どもの安全が確保されるよう努めている。 | ㉑・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域の関係機関との連絡、連携のあり方が明確にされている。緊急事態には警察車両が施設に臨場するようになっている。</p>   |  |       |
| A-2-(9) 心理的ケア  |  |       |
| A③⑤  | A-2-(9)-① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。                          | a・㉒・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>有資格者を配置し心理的なケアが必要な子どもに対して、心理的な支援が行われている。今後は、心理的なケアに対応する職員研修や対象となる児童の保護者への助言・支援が行われるよう期待したい。</p>                     |  |       |
| A-2-(10) 学習・進学支援、進路支援等   |  |       |
| A③⑥  | A-2-(10)-① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。                         | ㉑・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>高校受験に向けた中学生対象の学習塾への通塾は、一人ひとりの学力に合わせて行われている。特別支援学校への通学も公共の交通機関を使い通学できるように支援されている。</p>                                |  |       |
| A③⑦  | A-2-(10)-② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。                      | a・㉒・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>高校生の大学への進学や将来の就きたい職種等、進路について話し合いを持ち進路選択の自己決定ができるように支援されている。</p>   |  |       |
| A③⑧  | A-2-(10)-③ 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。              | a・㉒・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域のみかん農家の手伝いやアルバイトなどの経験を通して、社会体験の拡大に取り組んでいる。</p> <p>今後は、子どもが自分の特性などを知る機会になるような職場体験や職場実習などの機会を、計画するなどの取組みに期待したい。</p> |  |       |
| A-2-(11) 施設と家族との信頼関係づくり  |  |       |
| A③⑨  | A-2-(11)-① 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。             | ㉑・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>家族からの相談窓口は担当職員に限らず、保護者と良好な関係を築くために適任者が対応している。保護者とのトラブルは今までなく、問題やトラブルが発生したりした場合は施設長が対応している。</p>                      |  |       |
| A-2-(12) 親子関係の再構築支援  |  |       |
| A④⑩  | A-2-(12)-① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。                      | a・㉒・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもの帰省時に家庭訪問を実施し、家庭の様子や住居の確認を行っている。</p> <p>今後は、親子関係の再構築のための支援を家庭支援専門員中心に、他職種や関係機関と連携を図りながら進めていくよう期待したい。</p>         |  |       |

|  |   |       |
|--|---|-------|
| A-2-(13) スーパービジョン体制  |   |       |
| A④   | A-2-(13)-① スーパービジョンの体制を確立し、施設の組織力の向上に取り組んでいる。 | a・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>スーパービジョンの体制を確立し、施設の組織力の向上に取り組んでいるが十分とは言えない。</p> <p>今後は、職員が一人で問題を抱え込まないよう、基幹的職員を中心にスーパービジョン体制を整え、職員がいつでも相談できるような取組みに期待したい。</p> |   |       |